

真岡市ふるさと寄附金の運用状況

ふるさと寄附金とは、生まれた故郷や応援したい自治体へ寄附ができる制度です。手続きをする
と、寄附金の内2,000円を超える部分を住民税などの控除(上限あり)が受けられます。また寄
附金の使い道を指定でき、市外在住の方にはお礼の品(特産品)をお送りしています。

令和5年度 寄附金の受入状況

令和5年度ふるさと寄附金の受入件数は、5万8,815件
でした。以下が各事業の受入額です。

寄附金の使い道	寄附金の受入額
「木綿の里真岡」事業	4,050万2,000円
「真岡の夏祭り」事業	3,886万7,500円
「真岡の環境保全」事業	6,640万9,000円
「教育のまち真岡」事業	1億7,431万2,000円
「安心して暮らせるまち真岡」事業	1億1,171万797円
「市長にお任せ」事業	2億5,445万3,500円
計	6億8,625万4,797円 (前年度比367%増)

人気の返礼品は「とちあいか」



選ばれたお礼の品の7割以上が
質・量ともに日本一を誇る「真岡の
いちご」でした。また、一番人気の
品種は、切り口がかわいらしいハート
形になる「とちあいか」でした。

真岡市複合交流拠点施設の 愛称とロゴマークが決定



子育ての支援機能「asobu 遊ぶ」を表したいちご色
の「a」と、図書館の機能「manabu 学ぶ」を表した
緑色の「a」をまんなかで結ぶことで、人と人が「に
ぎわう」交流拠点 monaca を表しています。

愛称は「monaca (モナカ)」に決定

複合交流拠点施設の愛称募集では、市HPやSNS
を通じて広く募集し、177点の応募がありました。
応募作品の中から上位3作品を選び、市内の小学5
年生から中学3年生による最終選考を行いました。
投票の結果、市内在住の石川由里さんの応募作品で
ある「monaca (モナカ)」に決定しました。

「monaca」は、「真岡のまんなか」という意味で、
複合交流拠点施設が、真岡の中心部としてにぎわっ
てほしいという願いが込められています。

今後、施設の看板やパンフレット、ノベルティグッ
ズなどに幅広く使用し、「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」
機能が連携、融合する複合交流拠点施設「monaca」
の魅力を広く発信していきます。



6月19日(水)、真岡市複合交流拠点施設愛称表彰
式が行われました。(左から石坂市長、石川さん)

最優秀賞 石川 由里さん (真岡市)

優秀賞 野澤 泉さん (真岡市)
栗村 俊也さん (真岡市)

工事進捗と今後の予定

6月～8月	床や天井などの内装工事 外装仕上げ・外構工事
7月～8月	備品搬入設置
9月末	竣工
10月～12月	開館準備 図書類搬入・スタッフ研修等
令和7年1月25日(土)	オープン(予定)



※写真は6月現況

寄附金の運用状況

寄附者が指定した使い道に応じて真岡市の各事業で運用しています。

「木綿の里真岡」事業

特産品の育成・地域産業の振興



- ・いちご生産施設整備支援事業
- ・真岡木綿織姫育成支援事業

「真岡の夏祭り」事業

地域の文化および伝統芸能の伝承・育成



- ・夏祭り補助事業

「真岡の環境保全」事業

自然環境および生活環境の保全並びに整備



- ・墓地管理システム導入業務委託
- ・農業用廃プラスチック適正処理事業

「教育のまち真岡」事業

教育環境整備および青少年健全育成



- ・小中学校ICT支援員業務委託
- ・子ども見守りパトロール業務委託

「安心して暮らせるまち真岡」事業

子育て支援、高齢者および障がい者の自立等



- ・高齢者運転免許証自主返納支援タクシー運行委託
- ・乳児紙おむつ購入助成券支給事業

「市長にお任せ」事業

その他目的達成のために市長が必要と認める事業



- ・コミュニティFM情報番組制作放送
- ・井頭周辺活性化事業
- ・グランピング施設整備事業
- ・身障タクシー利用料金助成
- ・観光案内パンフレット作成

・協力事業者の申込・問い合わせ (株)アースコーポレーション Tel 81-6038
・ふるさと寄附金に関する問い合わせ 秘書広報課シティプロモーション係 Tel 81-6947